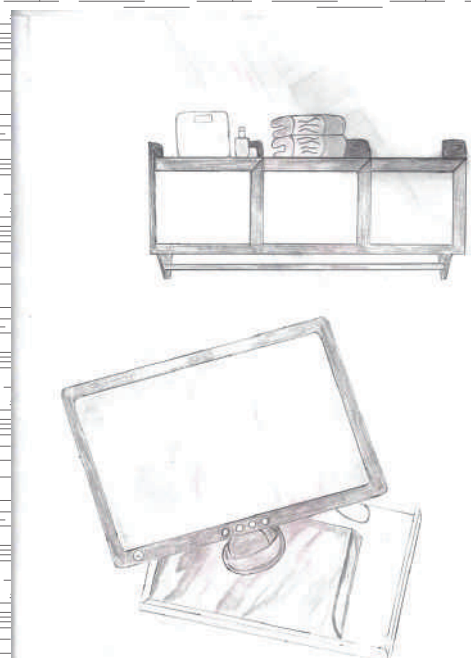


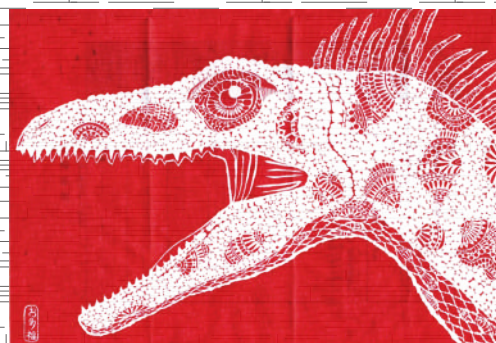
「私の大切な時間」

独裁者 9-11 着手 似かひて

刑務所アート展



「おこし 巖かに 皆と 響かす 音」



展示期間：2023年2月17日～3月5日

12:00-18:00 ※月・火は休廊

会場：KOGANEI ART SPOT シャトー2F

東京都小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井 2F

主催：堀の内と外との交流型公募展プロジェクト

協力：NPO 法人マザーハウス Inter7

助成：東京芸大「I LOVE YOU」プロジェクト



塙の内と外との交流型公募展について

塙の内と外との交流型公募展プロジェクトでは、NPO 法人マザーハウスの協力のもと、全国の受刑者から詩や短歌、俳句、川柳、エッセイ、書、絵画などの文芸作品を募集し、その表現を介して見えない塙の向こうへと想像をめぐらす機会となる刑務所アート展の開催を目指し活動してきました。このプロジェクトの初回として今回は、作品の募集にあたり「私の大切な時間」を課題作品のテーマとしました。応募者それぞれが過去・現在・未来の「時間」と向き合い、時間をかけて制作された力作が多く集まりました。（応募作品は、下記のプロジェクト Web サイトにおいて閲覧できます。）

また、加害/被害を問わず、犯罪により傷を受けたあらゆる人々の支援を目指す団体 Inter7 の協力も得ながら、さまざまな対話の場を開いてきました。その中で、弟さんを殺害された被害者遺族として、その加害者である長谷川敏彦さん（当時の死刑囚）と対話を続けてきた原田正治さん、その原田正治さんの活動に影響を受け、奥本章寛さん（死刑囚）を支える活動をされてきた荒牧浩二さんとの出会いがありました。

今回の展示では、受刑者から応募された作品に加えて、長谷川敏彦さんと奥本章寛さんの絵の展示も予定しています。長谷川敏彦さんはすでに死刑が執行され亡くなっています。その絵は原田正治さんや当時の支援者により保管され 10 年以上眠ったままでした。奥本章寛さんは色鉛筆で絵を描き、荒牧浩二さんの支えもあって絵葉書やカレンダーとして販売し、その収益を被害者への弁済にあててきました。しかし、2021 年 2 月の法務大臣訓令の変更により、色鉛筆の使用が認められなくなり、現在その使用を求めて「色鉛筆訴訟」を起こしています。

塙の内の限られた自由の中で、それでも表現に取り組み、塙の外からその表現を支え向き合人々がいます。この塙の内と外との時間をかけた交流を通して、司法の場では語り得ないこと、築かれ得ないかもしれない関係性と対話の回路をひらき、私たちもまた共に向き合っていくと考えています。

企画代表：風間勇助、展示設営協力：弓指寛治

。後話機持つわボ手かすかに震へをり五年振に
きく母のその声 (課題作品部門)



Web サイト：<https://project.pacr-lab.net/>

会場：KOGANEI ART SPOT シャトー 2F

東京都小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井 2F
JR 中央線武蔵小金井駅南口から徒歩 5 分

- ①JR 武蔵小金井駅南口を出て、ロータリー左手の商店街を直進します。
- ②向かい側にセブンイレブンがある十字路にぶつかったら、右に曲がります。
- ③まっすぐに歩くと通り沿い右手にシャトー小金井が見えてきます。バス停の前、小金井市観光まちおこし協会の左隣、白のトビラから 2 階へ上がってください。

<https://artfullaction.net/koganei-art-spot/>

